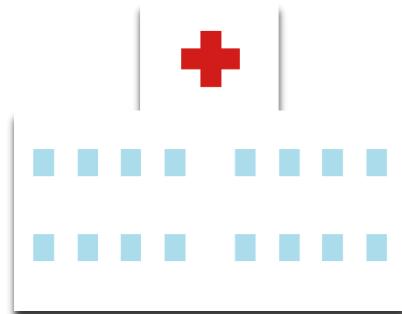


# 新生児搬送について

最近の産婦人科の医療体制は正常な妊婦健診やお産、産後の1ヶ月健診および赤ちゃんの1ヶ月健診を近くの馴染み深い産婦人科で受けていただきながらも、もし集中的な治療が必要になった場合には、より専門的な病院で治療してもらうという、地域ぐるみでさまざまな病院・医院が連携し合うシステムとなっています。

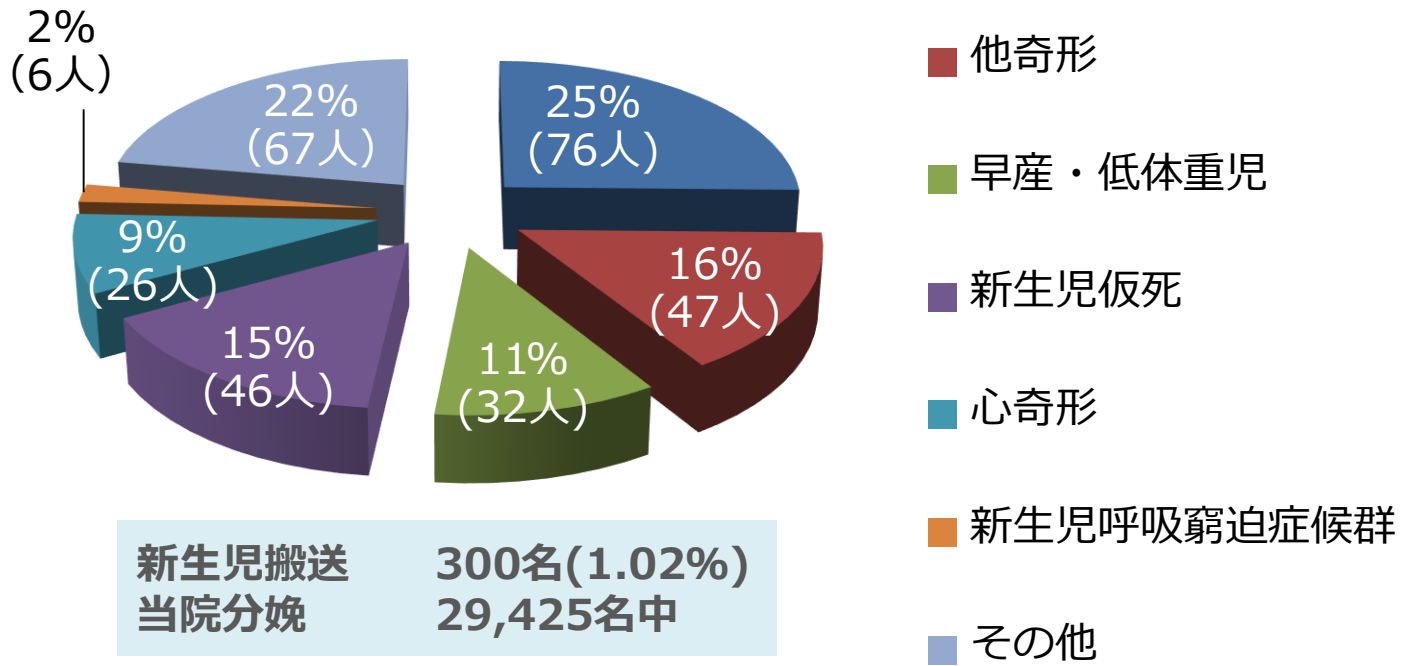
大阪府下では全国に先駆けて1977年から赤ちゃんのための連携システムNMCS(新生児診療相互援助システム)が発足しました。

当院では1995年ー2009年までの15年間に300名(29,425名中300名1.02%)の赤ちゃんがお世話になりました。



# 新生児搬送について

## 主な搬送理由



新生児搬送 300名(1.02%)  
当院分娩 29,425名中

1995年～2009年